

万博「絆」 Kizuna 通信

Vol. 3

2024年5月8日 発行



4/29 ケルケンティス BIE 事務局長と
自見大臣 於パリ博覧会国際事務局

2025 大阪・関西万博には、約 160 の国の参加が予定されており、各国大臣・大使や関係者や施工会社の方々などとも力を合わせ、大変な熱意で現在準備を進めてくださっています。

4月に式典に参加したうち、米国は“Imagine what we create together”、フランスは「愛の賛歌」、イギリスは“Come build the future”がそれぞれテーマです。愛や未来や絆を表現するパビリオンはどれも魅力的です。イギリスはロンドンオリンピックで利用した資材を用いたパビリオンで環境問題へも対応します。

また、4月末まで募集していたボランティアも目標をはるかに上回る応募をいただき、万博に対する期待の高まりを感じます。

これから今年の秋や冬に向けて、各国の素晴らしい展示・企画の内容がどんどん明らかになってきます。各国の期待と熱意にしっかりと応えるためにも尽力してまいります！

現場の皆様には心からの感謝を込めて

By Hanako Jimi

4/17 米国パビリオン起工式レセプション
エマニュエル駐日米国大使、
自見大臣、吉村大阪知事府、横山大阪市長
於大阪



4/24 仏パビリオンレセプション於東京
自見大臣、リステール貿易担当大臣、
ジャックメール コフレックス総裁、
セトン駐日仏大使、姫野関西担当大使



5/2 英国オフォード閣外担当
大臣との意見交換
於ロンドン



今週の週報の内容

1. 海外パビリオンの状況

- 4/23・24 フランス起工式・発表会
- 4/23 カタール起工式
- 4/24 インド発表会

2. 先週の主な活動／今週以降の予定

- 4/23 五百円玉記念硬貨 公表
- 4/26 オフィシャルストア MARUZEN&ジュンク堂書店 札幌店オープン
- 5/1 万博国際交流プログラム参加登録計画 公表
- 5/7 万博ボランティア応募者数 定員突破

万博頑張ろう！

3. 募集の状況

- チケット販売: 166万 4,129枚 (4/24 現在)



©Expo 2025

今週の大阪・関西万博 **週報** (4/23～5/6)
 ～ 開催まで あと **341** 日です! ～

1. 海外パビリオンの状況

- 4/23 (火)、4/24 (水) にフランスが起工式及びパビリオン発表会を実施。テーマは「愛の賛歌」。ピンクがかった銅製のスロープが特徴。階上には庭園。両側面を布で覆い、赤い糸で小指が結ばれる伝説に触発された神秘性を演出。



写真左：起工式の様子 (<https://www.franceosaka2025.fr/ja>)

写真右：パビリオンイメージ (<https://www.franceosaka2025.fr/ja>)

- 4/23 (火)、カタールが起工式を実施。テーマは「持続可能性」。カタールの伝統的な木造船「ダウ船」をモチーフに建築家・隈研吾氏がデザインを担当。



写真左：起工式の様子 (https://www.moci.gov.qa/en/mec_news/qatar-lays-the-foundation-stone-for-its-pavilion-at-expo-2025-osaka-kansai-japan/)

写真右：パビリオンイメージ (<https://twitter.com/bieparis/status/1782786908617159095>)

- 4/24（水）にインドがパビリオン発表会を実施。テーマは「命を救う」。パビリオンはヒマラヤ山脈をイメージ。外観は猿の神ハヌマーンの姿をあしらう。宇宙開発や製薬といったインドが注力する産業分野の展示を予定。



写真：パビリオンイメージ (https://www.indiatrdefair.com/tenders/offline_tender)

【現在の参加国等の状況】（4月25日現在）

- ・公式参加契約締結国数： 99 か国
- ・敷地を引き渡した国： 35 か国
- ・施工事業者が決まった国： 39 か国
- ・着工済みの国： 17 か国

2. 先週の主な活動／今週以降の予定

- 4/23（火）、財務省は「ミヤクミヤク」をあしらった五百円玉の記念硬貨の図柄を公表。発行枚数は未定。各地の金融機関において来年4月から取扱予定。なお、万博に関連して発行される記念通貨は計5種類。（既に「千円銀貨」2種類は発表済み。後日、「一万円金貨」「千円銀貨」のデザインを更に発表。）

	(表面)	(裏面)
図柄	 <p>「ミヤクミヤク」</p>	 <p>「2025年日本国際博覧会 ロゴマーク」</p>
額面	五百円	

出典：財務省 HP

(https://www.mof.go.jp/policy/currency/coin/commemorative_coin/expo_2025/20240423.html)

- 4/26（金）、大阪・関西万博オフィシャルストアの MARUZEN&ジュンク堂書店 札幌店がオープン（北海道初）。なお、オフィシャルストアは日本全国に実店舗 11 店舗を展開中で、順次拡大中。



<参考>オフィシャルストア

- ・あべのハルカス店、大丸梅田店、丸善丸の内 OAZO 店、JR 新大阪駅エキマルシェ店、MARUZEN&ジュンク堂書梅田店、丸善京都 BAL 店、ジュンク堂書店福岡店、高島屋大阪店、大阪南港 ATC 店、心斎橋 PARCO 店、MARUZEN&ジュンク堂書店札幌店舗

出典：協会 HP (<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240401-03/>)

- 5/1（水）、万博ボランティアへの募集人数である約 2 万人を大幅に超過し、5 万 5 千人超が応募（受付は 4/30 で終了。当日消印有効のため、最終応募者数は精査中）。来場者の案内・誘導、会場内の美化活動のサポート、外国語を活かした外国人の接遇など（=会場内ボランティア）、市内での万博／観光情報の案内、主要駅や空港での交通案内など（=会場外ボランティア）を実施予定。



□5/1（水）、内閣官房で実施する「万博国際交流プログラム」（※万博を契機に、全国各地域において、地域住民と万博参加国・地域の関係者が、地方公共団体の事業を通じて継続的に国際交流していくための枠組み）に参加する自治体の交流計画 11 件（3 月末までに申請のあった 8 自治体（3 県 5 市）分）を第二次登録として公表。第一次登録分と合わせ、これまでに登録された交流計画は 60 件（37 自治体（6 府県 31 市町村）に。【別紙 1】

出典：内閣官房国際博覧会推進本部事務局 HP より：

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/expo_suisin_honbu/topics/topics_r6_0119koubo.html

<今後の予定>

- ・ 5/11（土）～12（日） 武雄競輪での万博PRブース出展
- ・ 6/1（土）～2（日） 前橋競輪での万博PRブース出展
- ・ 6/6（木）～9（日） 奈良競輪、函館競輪での万博PRブース出展
- ・ 6/13（木）～16（日） 高松宮記念杯での万博PRブース出展
- ・ 6/22（土）～23（日） 久留米競輪での万博PRブース出展
- ・ 6/29（土）～30（日） 取手競輪での万博PRブース出展

3. 募集の状況

◇ チケット販売枚数 : 166 万 4,129 枚（2024 年 4 月 24 日現在）

4. 報道等での主要な指摘事項と事実関係

(海外パビリオンの進捗状況について)

指摘事項

■ 万博海外パビリオン「タイプA」は53カ国。14カ国は施工業者決まらず。

【事実関係】

- 参加国が自前で建設する「タイプA」パビリオンについて、当初は60か国が建設を表明していたものの、「タイプX」や「タイプC」に移行した国などもあり、現時点(5月7日時点)では53か国が「タイプA」に向けて準備を進めており、うち39か国が建設事業者を決定し、順次、着工を進めているところ。
- 事業者が決定していない14か国については、各国の希望に沿えるよう、協会・経済産業省・外務省が連携し、マンツーマンで個別にサポートし、その進捗管理を行っている。

(防災対策の検討について)

指摘事項

■ 会期中に大雨や地震が発生する場合、会場の夢洲には2つしか橋やトンネルがなく、会場は「孤立」する危惧があるのではないか。

【事実関係】

- 博覧会協会において、大規模な災害が発生した場合には、来場者が会場内に一定期間とどまることも念頭に置き、その際に必要な水、食料、衛生用品等の物資の備蓄等に関して必要な検討を行っている。

(関連アンケートについて)

指摘事項

■大阪万博に「期待」69% 「景気浮揚」「日本の存在感向上」を望む声 主要企業アンケート(産経新聞)

【事実関係】

- 産経新聞は主要企業を対象に4月上旬～下旬にアンケートを実施し、110社から回答。
- 2025年大阪・関西万博開催まで1年と迫る中、アンケートでは万博開催に「期待する」とした企業が69%に上った。景気浮揚や日本の存在感向上を期待する回答が多くみられた。また、6割近くの企業が社内での機運醸成が「高まっている」と回答。

出展: <https://www.iza.ne.jp/article/20240505-ZHVPL6DDEJPIVDZVOCGVP35PHE/>

(メタンガス爆発について)

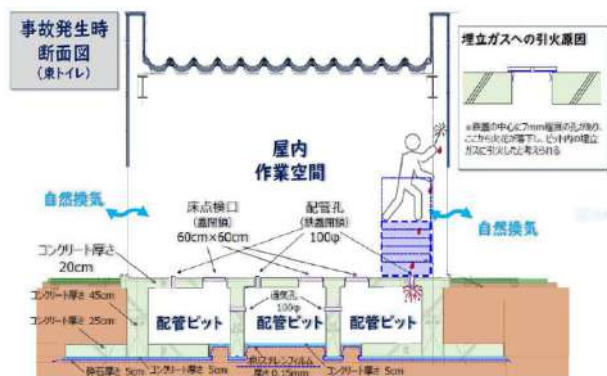
指摘事項

- 先日の会場内の工事現場でのガス事故後、工事は再開されているが、会場の安全性には依然として問題があるのではないか。

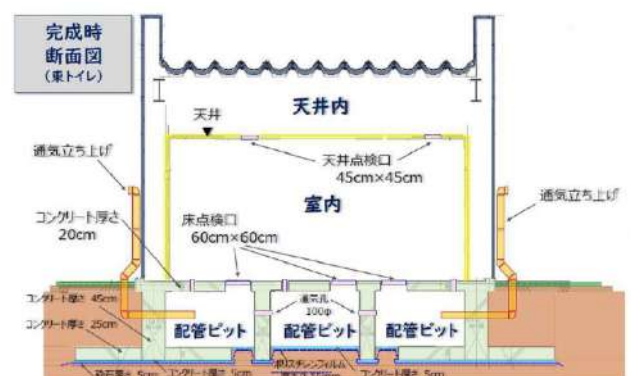
【事実関係】

- ・ 事故の原因は、土壌から生じたガスが地下の配管ピット内に入り滞留していたところ、地上階で火気を使用し、その火花が引火したことが原因と推測される。作業開始前には、換気やガス濃度測定など確認手順を踏んでいたが、作業場所が地上階であったため、地下の配管ピット内はガス濃度測定の対象とは認識されていなかった。
- ・ 地表付近でガスの発生が確認されている工区では、手順書を改定し、作業前のガス濃度測定を徹底。火器作業は床上の作業であっても、配管ピット内の濃度測定を義務づけ。
- ・ パビリオン周辺の工区では、これまでの地表付近の濃度測定では埋立ガスは検出されていないが、地下ピットにおけるガス濃度測定を継続実施。
- ・ 専門家の意見も聴取した上で、対応策をとりまとめ。

(参考) 事故時の断面図



完成後の断面図



出典：博覧会協会 HP <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240419-05/>

(別紙) 第二次登録の概要

都道府県	登録自治体名	相手国・地域	主な取組み
岐阜県	岐阜県	ハンガリー	岐阜県で開催される「国際陶磁器フェスティバル美濃'24」において、ハンガリーの磁器製作会社と連携し陶磁器を通じた国際交流を実施。
石川県	石川県	韓国	全北特別自治道において開催される国際的な音楽芸術祭「全州世界ソリ祭り」に文化団体を派遣し文化交流を実施。
福井県	福井県	ブラジル	ブラジル「福井村」出身者を福井県立大学へ招いて学生にブラジルや「福井村」を紹介する講座や、万博ブラジル館のテーマ「環境」や「気候変動」について専門家による学生向けの講座を実施。
	福井市	スロベニア	市内小中高生と、クラン市等スロベニア各都市の子どもたちとのオンライン交流や手紙・ビデオレター交換を実施 また、クラン市・福井市の相互訪問も実施。
京都府	亀岡市	米国	姉妹都市スティルウォーター市から訪問団と中学生たちを招聘し、訪問団の亀岡祭への参加や中学生たちのホームステイを通じて、交流を実施。また、万博をテーマにした市民向け国際交流イベントも実施。
		オーストリア	姉妹都市クニッテルフェルト市に中学生たちを派遣し、ホームステイを通じた交流を実施。また、万博をテーマにした市民向け国際交流イベントも実施。
大阪府	大阪市	ベトナム	食を軸にした市民の交流。市民向け文化・歴史紹介も実施。
	東大阪市	コートジボワール	大阪アフリカビジネスフォーラムでは、企業に向けアフリカでの事業展開に関する情報を発信。AFRICA EXPOでは、音楽ステージやフードマルシェなど文化にふれるブース出展を通じて、アフリカ関係者と市民の交流。
		タンザニア	
		ベナン	
山口県	山口市	スペイン	山口市・パンプローナ市姉妹都市締結45周年記念プレ事業において、日本とスペインの500年の交流史についての講演や交流イベントの開催。

(注1) 本事業における交流計画は調整中の内容であり、今後変更がありうるものです。

(注2) 本事業における交流計画の詳細については、各地方公共団体へお問合せください。